

国語科学習指導計画

単元名：「たんぽぽのちえ」

単元の目標

- ◎時間の順序や理由を表す言葉に着目し、様子とそのわけを考えながら説明的文章を読むことができる。〔読(1)イ、伝国(1)イ(ウ)〕
- ◎大事な言葉や文を書き抜き、経験と結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。〔読(1)エ・オ〕

日常生活との関連 (別紙)

成果と課題

(成果)

- ・たんぽぽの絵を事前に描かせたことで、普段見ているたんぽぽから、知恵の詰まったたんぽぽへと意識を向けることができ、読み取りの関心が高まった。
- ・実際のたんぽぽを観察することで、変化する順序や、文章で書かれている知恵とわけをつなげて読むことができた。

(課題)

- ・文章からだけは、書かれている内容を想像することは難しい。一つ一つの言葉の理解と、語彙を増やす必要がある。
- ・文章に書かれている内容ではなく、想像で考えてしまうこともあった。挿絵ではなく、書かれた文章を読むことに意識を持たせなければならない。(特に順序や理由など)

日常生活との関連

- ・身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す。

	学習活動	自然との関わり
1 ・ 2	教材文を読み、感想を交流する。	・実際にたんぽぽの絵を描かせ、ほとんどの人が「黄色」で色を塗ることを確認させる。
3 ・ 4	どんなときにどんなちえを働かせているか捉える。	・どんな知恵を働かせているか、校庭のたんぽぽを観察させ、読み取りのヒントとする。
5	種を太らせる知恵について	・しぼんでしまった黒い色のたんぽぽ
	種を飛ばす知恵について	・花の軸がぐったりと倒れているたんぽぽ
		・先が白くなったたんぽぽ
		・綿毛の形が落下傘のようにになっているたんぽぽ（←特に晴れた日）
6	種を遠くまで飛ばす知恵	・黄色のたんぽぽよりもずっと背が高く伸びたたんぽぽ
7 ・ 8	綿毛の開き方の知恵	・雨の日のたんぽぽ（綿毛の様子）
9	たんぽぽの知恵から、賢いと思うところをノートに書き、考えたことを書き加える。	・再度たんぽぽの絵を描かせ、黄色以外の色や綿毛の形を捉えさせ、知恵についてまとめるヒントとする。
10	説明的な文章を読む際に気をつけることをまとめる	